



世界冬の都市市長会 第2回環境問題小委員会

会員以外の都市の取り組み

参考資料: ICLEI—持続可能性をめざす自治体協議会

ICLEIとは



- ICLEI(International Council for Local Environmental Initiatives)
- 1990年に43カ国200以上の地方自治体が集まりニューヨークの国際連合で行われた「持続可能な未来のための自治体世界会議」にて誕生
- 会員は600以上の自治体および自治体連合組織で、その数は年々増加している
- 地域レベルでの持続可能な開発を推進するにあたって、技術コンサルタント、トレーニング、情報サービスを提供している

スウェーデン：ベクショー ～「化石燃料ゼロの自治体ベクショー」事業～



- 市議会で、市が化石燃料を使用しない都市になることを全会一致で可決（1996年）
 - ・暫定的な目標：CO2排出量を年間一人当たり2.3トン削減
- 環境に配慮した車の使用を奨励したり、販売する全ての燃料に5%のエタノールを混ぜるなどの対策で排出量は若干低くなったが、その他の対策も必要であると判断された

スペイン：バルセロナ ～レンタサイクル制度の促進～



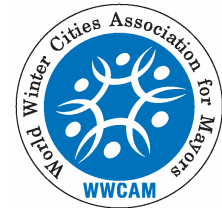
- レンタサイクル・プログラムの実施
 - ・バルセロナでは4万人が外出に自転車を使用
 - ・250カ所のセルフサービスのサイクル・ポイントで自転車に乗ることが出来る
 - ・3000台が利用可能
 - ・新たなレンタサイクル計画によって自転車利用者の増加を図る

イギリス：ロンドン ～SUV車に対する通行料～



- 市長は、市の中心部の渋滞区域に入る汚染度の高い車（SUV車）に対して、一日25ポンド（約6000円）の通行料を課する提案をした
- 従来どおり全ての車にも8ポンド（約1900円）の通行料がかかる
- この提案は現在協議されており、2009年または2010年に成立する見込みである

オーストラリア：シドニー・アンリー



《シドニー》

- 不必要な電気を消すよう市民や企業に呼びかける「Earth Hour」を実施（2007年3月31日19時30分～20時30分）
 - ・約200万人が参加し、10.2%の電気使用料を節約

《アンリー》

- ソーラー給湯サービス設置の為の無利子の融資を一般家庭へ提供している
 - ・電気給湯器をソーラー給湯器に替えることで、年間2.5トンの温室効果ガスの削減が見込まれる

メキシコ：メキシコシティー ～大気環境が改善～



- 法律によって全ての車が触媒コンバータ(自動車の排気ガスを制御する装置)を搭載することを義務付けている
- 無鉛燃料のみが使用可能
- 97台のディーゼルバスを350台のマイクロバスに替えることで、35,000トンの温室効果ガスの削減、排気ガスの23-59%削減に成功
- バスは移動距離に関係なく料金が一律

アメリカ：ポートランド

～アメリカで初めてCO2削減計画を採用～



- 市民一人当たりの温室ガス排出量を2010年までに1990年水準よりも10%削減を目標
(京都議定書のアメリカの目標より積極的な数値)
- 路面電車の路線追加により公共交通利用を促進
- 電気使用の10%以上を再生可能エネルギーで賄う
- 1996年以来750,000本以上の植樹(2004年現在)
- 2年間に10,000のアパートと800を超える一軒家の断熱措置を行う